

## 保証声明書

2015年度温室効果ガス排出量インベントリ  
ブラザー工業株式会社

### 保証業務の条件

この保証声明書は、ブラザー工業株式会社に対して作成されたものである。

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド (LR) は、ブラザー工業株式会社 (以下、BIL という) より、2015年度 (2015年4月1日～2016年3月31日) の温室効果ガス (GHG) インベントリ (以下、報告書と言う) の保証業務を委嘱された。

報告書は、直接的な GHG の排出量 (スコープ 1<sup>1)</sup>、エネルギー起源の間接的な GHG の排出量 (スコープ 2<sup>1)</sup> 及びその他の間接的な GHG の排出量 (スコープ 3<sup>2 3)</sup> に係わるものである。

報告書は、BIL 及びブラザーグループの日本国内及び海外の製造及び非製造拠点における事業活動に伴う GHG 排出量を対象としている。

### 管理責任

BIL は、報告書の作成と開示されたデータ及び情報管理の効果的な内部統制の維持に対して責任を有する。また、LR の責任は、BIL との契約に従い、報告書の保証業務を実施することである。

報告書は、最終的に BIL に承認され、引き続き BIL の責任の下にある。

### 保証手続

LR の検証は、「ISO14064-1:2006 組織における温室効果ガスの排出量及び吸収量の定量化及び報告のための仕様並びに手引」及びサプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインの規定を準拠して算定され、報告書に明記された GHG データについて、限定的保証を提供するために、「ISO14064-3:2006 温室効果ガスに関する主張の妥当性確認及び検証のための仕様並びに手引」に従って実施された。

結論を得るために、保証業務はサンプリング手法を用いて、次の事項を含んで実施された。

- 瑞穂工場及び株式会社ニッセイにおける関連設備のサイトツアー実施と GHG 排出量データ及び記録の管理に係わるプロセスのレビュー
- GHG 排出量インベントリ作成に至る全てのプロセスを含む GHG 排出量のデータ、情報及び記録の管理システム文書のレビュー
- GHG 排出量とは別に定量化された、日本のカーボン・オフセット制度を通じた GHG 排出削減プロジェクトへの 100 tCO<sub>2</sub> 相当の貢献に係るカーボン・オフセット証明書及び関連書類のレビューによる確認
- GHG 排出量データと記録の管理に係わる担当者へのインタビュー
- GHG 管理システムと内部のデータ検証の効果的な実施に対する審査
- 集計された 2015 年度の GHG 排出実績データ及び記録の検証

### 保証水準と重要性

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

<sup>1</sup> スコープ 1 及び 2 排出量の定義は、The Greenhouse Gas Protocol – A Corporate Accounting and Reporting Standard による。

<sup>2</sup> スコープ 3 排出量のカテゴリは、Greenhouse Gas Protocol – Corporate Value Chain (Scope 3) Accounting and Reporting Standard, Table 5.3 の定義による。

<sup>3</sup> スコープ 3 排出量はカテゴリ 1 から 15 を対象とする。

## 検証意見

上記の保証手続において、下の表 1 に要約された報告書の直接的な GHG の合計排出量、エネルギー起源の間接的な GHG の排出量、その他の間接的な GHG の排出量が重要な点で正しくないことを示す事実はなかった。また、報告書が ISO14064-1:2006 及びサプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインに準拠して作成されていないことを示す事実は認められなかった。

## LR 推奨事項

BIL が国内外グループ会社のデータ集計の完全性と内部データチェックの強化に引き続き取り組むことを推奨する。

署名：

日付: 2021 年 6 月 30 日

田上幸治

田上 幸治

LR 主任検証人

ロイドレジスターオリエンタルアシュアランスリミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA10F

LR Reference: YKA4005060

表 1. BIL の 2015 年度 GHG 排出量インベントリの要約

スコープ	トン CO <sub>2</sub> e
直接的な GHG の排出量 (スコープ 1)	75,333
エネルギー起源の間接的な GHG の排出量 (スコープ 2、ロケーション基準)	122,766
エネルギー起源の間接的な GHG の排出量 (スコープ 2、マーケット基準)	125,093
その他の間接的な GHG の排出量 (スコープ 3)	3,223,487

This Assurance Statement is subject to the provisions of this legal section:

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Ltd. (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this Legal Section as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

Due to inherent limitations in any internal control, it is possible that fraud, error, or non-compliance with laws and regulations may occur and not be detected. Further, the verification was not designed to detect all weakness or errors in internal controls so far as they relate to the requirements set out above as the verification has not been performed continuously throughout the period and the verification carried out on the relevant internal controls were on a test basis. Any projection of the evaluation of control to future periods is subject to the risk that the processes may become inadequate because of changes in conditions, or that the degree of compliance with them may deteriorate.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register assumes no responsibility for versions translated into other languages.

In the case of any conflict between the English and Japanese versions of this legal section, the English version shall prevail.